

向こう三軒両隣
くにたち路地庭プロジェクト
地域をむすぶ香りの路地庭みち

■大正末期、田園都市計画の一環として開発された文教都市— 国立のまち—。JR中央線「国立駅」南口の幅員約44mの大学通りから放射状に広がる美しい街並みで知られています。香る路地庭とは、裏通りの狭い道や袋小路などのいわゆる路地を活かした、どこか懐かしさを感じる花と緑の香りであふれた路地沿いの庭という意味の造語です。

■そのイメージから、線路に分断・切り離されていた市内北地区に、計画地はあります。しかし近年のJR線の高架化に伴い、南北の通行が容易になり、利便性が格段に向上してきました。

■この市境界の地区には昔ながらの住宅が広がり、それらが細い路地でつながっています。表の大通りにくらべて目立たない存在の住宅街の路地沿いの民有地を緑化し、みどり香る「路地庭」みちをつくる本企画は、国立市のみならず、全国津々浦々の路地が存在する全ての場所で実現可能な取り組みです。

通りかかった路地から風に乗って、ふと漂ってくる香り。それは庭先に咲ききれいな花の香りだったり、雨に濡れた土の香りだったり、はたまたキッチンから香る家庭料理の香りだったり…。

誰でも一度は、そんな路地の香りを体験したことがあるのではないのでしょうか。路地の香りは、私たちの懐かしい記憶を呼び起こしてくれたり、気持ちを豊かにしてくれます。

路地の香りは、私たちの懐かしい記憶を呼び起こしてくれたり、気持ちを豊かにしてくれます。路地の香りは、どこか懐かしさを感じる花と緑の香りであふれた路地沿いの庭という意味の造語です。



地域をむすぶ香りの路地庭みち

花と緑の香りがあふれる懐かしいまちの景色

17世帯の新旧世代の家族がつどい、協働でくにたち路地庭プロジェクトのモデルケースとして民有地の接道部緑化「地域をむすぶ香りの路地庭みち」づくりに参画します。

■市境の北地区から南の市内中心部へ住宅地の細い道路に路地庭みちを発信。まちをむすびます。

■路地を庭にする緑の階層：建築基準法第42条第2項の敷地セットバックによる道路の未舗装部分を、道路と敷地の中間部分＝「土間」として地被植物等で緑地化して住宅の緑と一体化し、道路が庭に見える景観づくり。

zone-D ■香る木立ちの洋風ゾーン
クレマチスとローズ、ジャスミンのロマンティックな香り

zone-C ■奥行きのある路地庭ゾーン
ローズとジャスミン、オレンジの華やかな香り

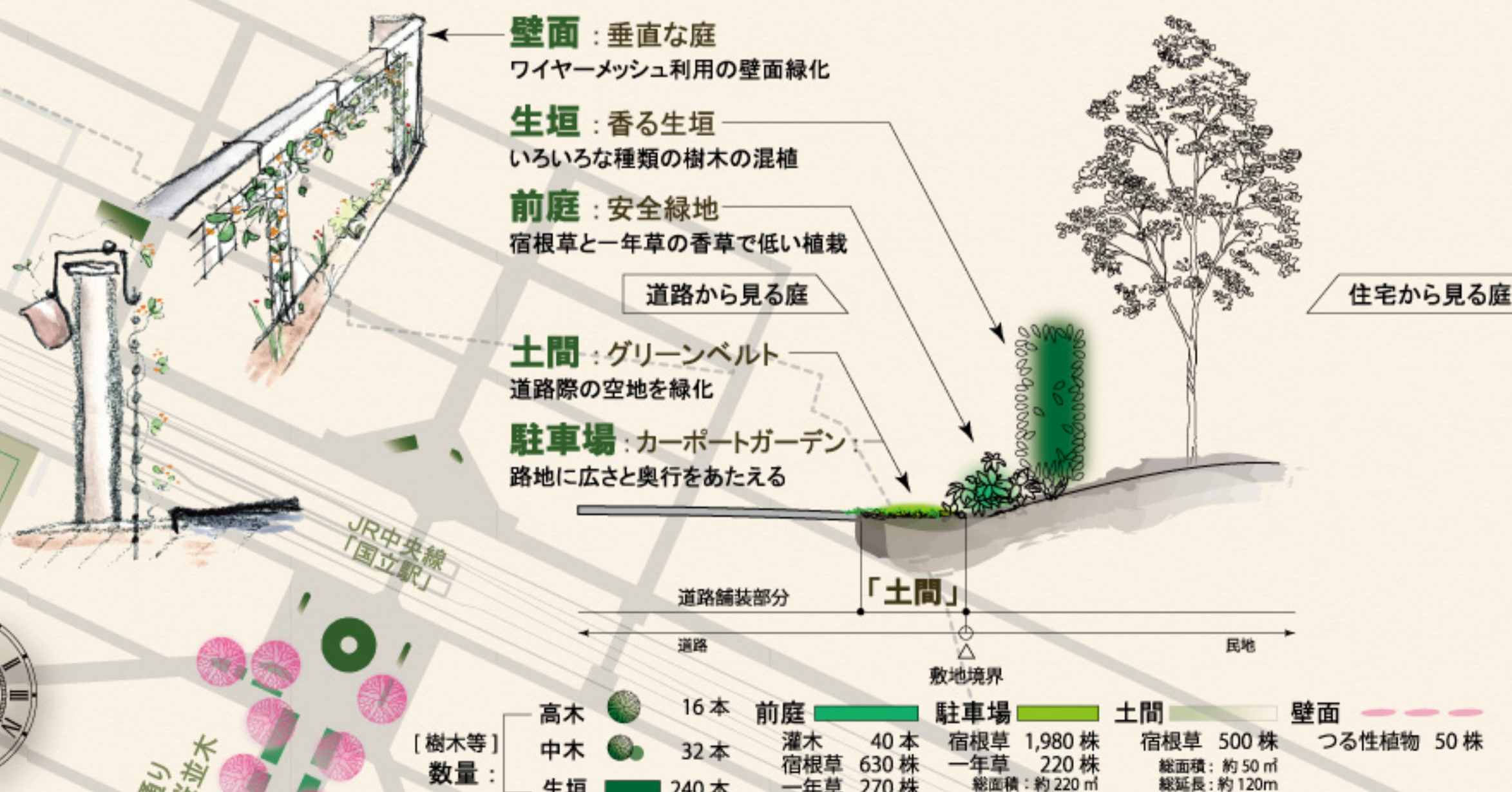
zone-B ■大通りからの導入ゾーン
ラベンダーとローズマリー、ジュンベリーの花の落ち着いた香り

zone-A ■既存樹木をいかした和風ゾーン
サクラ、ウメ、ユズの和の香り

香りの3D
縦：垂直方向と、横：水平方向に香る樹木や草花を配置し、時：季節の香りがお互いに引き立てあう組合せを考慮して、立体的に香るまちづくりを目指します。

香りの記憶は、時と空間を超えて心をこのまちにむすびます。

たての香り
高木・中木・生垣・壁面緑化
土間・前庭・土間・駐車場の香り



まちの回遊性を **創る**
新たなコミュニティづくりの **作る**
きっかけを **作る**
小さな回廊を **造る**

路地庭が **つなぐ** コミュニティストリート
公共から民間まで、多様な階層のみどりを繋ぐ道にします。

路地庭が **つむぐ** 香りの記憶
香りにより時や世代を超えて記憶が結ぶ道にします。

路地庭が **つくる** 東京のふるさと
香る路地庭を次世代に故郷として贈る道にします。

路地庭に **つどう** 多様な世代
みんなで生活を楽しむ屋外空間となる道にします。

路地庭が **まもる** こどもの安全
目の行き渡る、曲がり角の見通しの良い道にします。

安全緑地 角地の見通しを確保するために生垣や塀をセットバックして接道部に高さ50cm以下の低い植栽をします。



上：安全緑地予想図 下：現況

香りも楽しめる現代の日本庭園

～住宅街・日本庭園・多摩川をつなぐ香りの道～

平成26年度 第9回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
(環境省主催)において、かおり環境協会賞

申請団体: セントスケープ・デザインスタジオ+高崎設計室
共同企画団体: 世田谷区役所みどりのみず政策担当部公園緑地課玉川公園管理事務所
株式会社自然教育研究センター
計画地: 世田谷区立二子玉川公園内「帰真園」およびその周辺エリア



東京の西の玄関に位置する二子玉川は、小さい子供からご年配の方まで多くの家族連れが集う、東京の未来を担うエリアである。2013年春の開園以来、市民の憩いの場として定着しつつある帰真園に、香りの日本庭園というユニークな彩りを加えて、四季折々の風景の美しさ、楽しさを五感で感じとってもらえる場所にしようという計画である。「香り」をきっかけとした新しい東京の名所として、老若男女国内から訪れる方にも海外からのビジターにも、ユニバーサルに、日本文化の伝統や暮らしにひそむ美しさ・楽しさ・豊かさを発信できる場としていきたい。

ポイントA 香りも楽しめる日本庭園

日本庭園という場にふさわしい「香り」の風景を作りだせるように、日本に自生するもの、古典文学に登場する、古来より親しまれている香りの植物たちを中心に活用する。香りをきっかけとして、古の日本庭園に遊ぶ大和人たちのようすを時を超えて想像してもらえるような空間を創出する。

ポイントB 香りをつなぐ防災の道

現代の都市部に作られた日本庭園、という独自性で存在感を示す帰真園。駅二階から庭園までつながる遊歩道は、連続した藤棚で誘導される。遊歩道の終点正面にあるビジターセンター周辺から庭園入口、そして庭園の外周部に沿って「フジ」を象徴的に配置することで、フジ(藤・富士)をきっかけとした街への連続性を生み出す。また、駅から庭園外周部へと続く歩道は、近隣住民の災害時の避難経路にも指定されており、日ごろから散歩をしたくなるような場所を作ることで、緊急時の冷静な対応を促せるものとする。

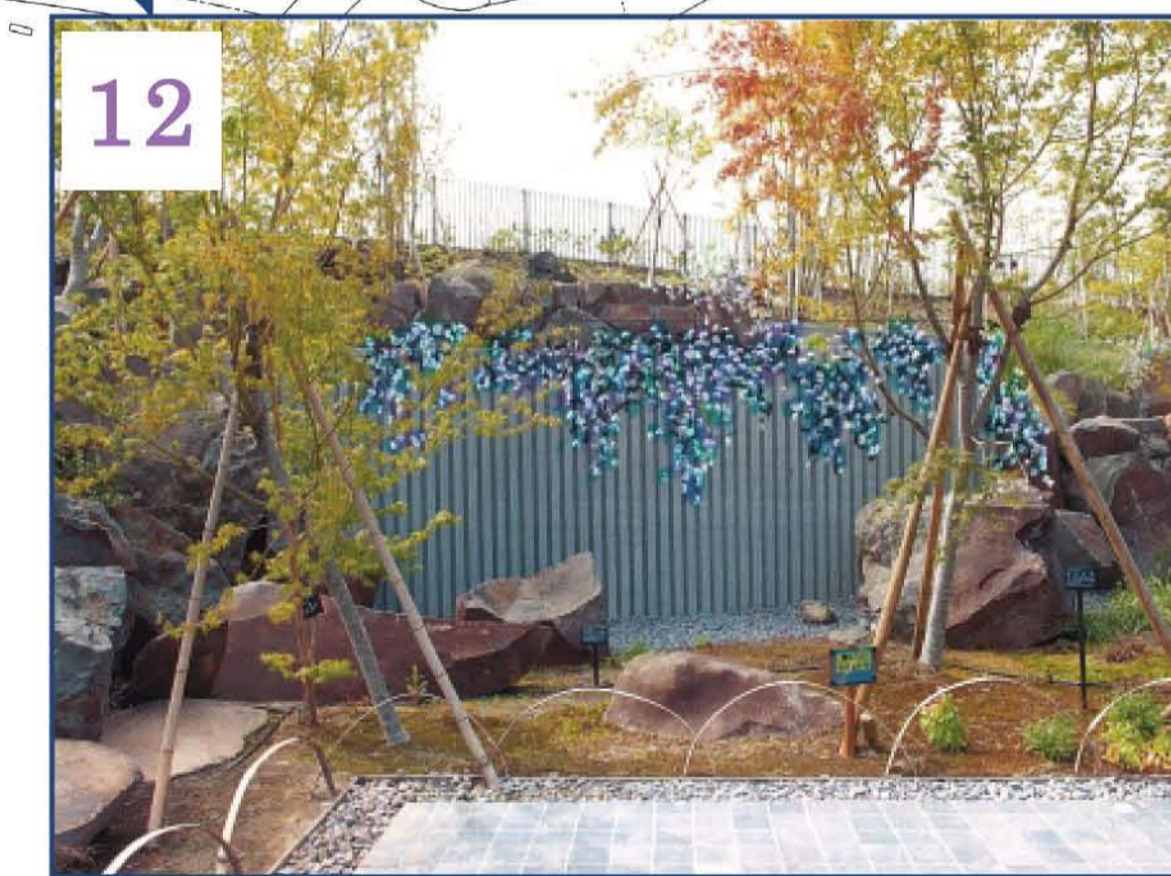
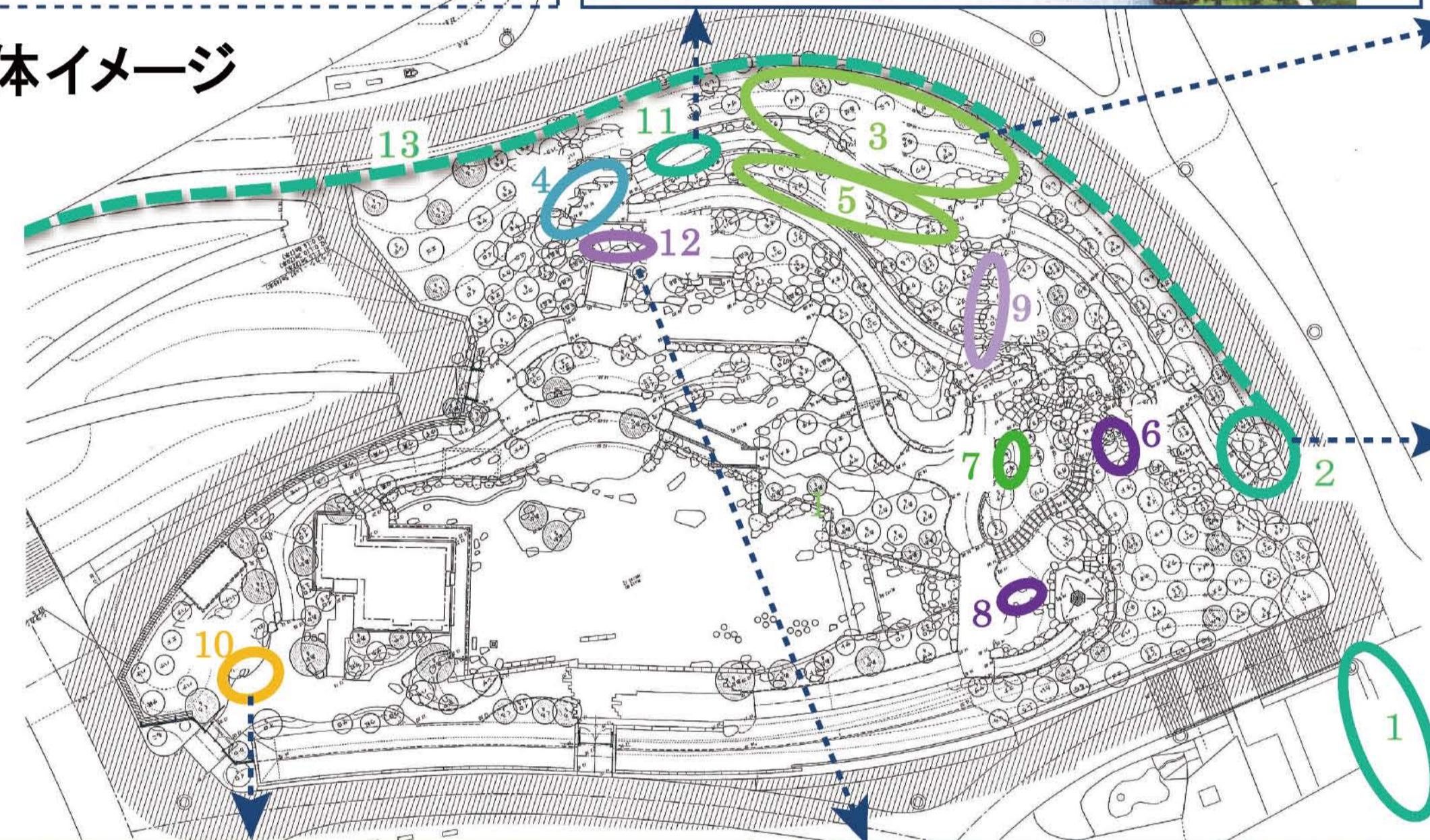
ポイントC 地域に愛される日本庭園

日本の文化に根差した香りの植物の面白さを体験してもらいイベントなどを、公園ビジターセンターと共同で企画するなど、場を活かした楽しい五感の学びの場としての活用も展開していく。2020年の東京オリンピックを視野に入れ、海外からの観光客も呼び込んで、日本文化発信の一拠点としていきたい。

- 【植栽予定場所】
1. 公園ビジターセンター前
 2. 駅に最も近い帰真園入口「玉川口」
 3. ゆるい坂道「おもいはせの道」付近
 4. レイズドベッド「万人花筵」周辺
 5. ゆるい坂道「おもいはせの道」付近
 6. 庭園全体を眺める園路の分岐点周辺
 7. ベンチ周辺の足元
 8. 東屋「時雨亭」前庭
 9. 根府川石の階段「二子坂」の両側
 10. 桃林
 11. 「おもいはせの道」の擁壁沿い
 12. 屋外の茶席「万人席」奥の擁壁沿い
 13. 帰真園外周の園路沿い



全体イメージ



香りのテーマ

日本庭園という場にふさわしい、和的な「香り風景」を作り出すために、日本に自生するものや古典文学に登場する、古来より日本文化の中で親しまれている香りの植物を中心に活用する。花色は「白」をテーマとして、清楚な気品を感じるような、落ち着いた趣きのある風景を創りだす。フジも一般に多くみかける紫フジよりも少しふっくらとボリューム感のある香りを漂わせる白花のものを中心として、見た目も香りも特徴的な風景をつくる。



使用する香りの草花と 香りを楽しめる時期

植栽の方針: 香りのよい植物として、花だけでなく、葉や茎などからよい香りがする植物を、足元のグラウンドカバー的に用いることで、一年中、散歩途中でふと足に触れた時などに、ふわっと立ちあがる香りを楽しむことができる。既存のカツラやクロモジ、クチナシ、なども活用しながら、区民が参加できる「香りのガイドウォーク」などの企画も考えられる。

植物名	植栽場所	本数/株数	香る部位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フジ(白)	1,2,11,13	24	花												
フジ(紫)	12	2	花												
ニホンズイセン(白)	3	2000	花												
ササユリ	5	350	花												
ササユリ	5	210	花												
ドイツズラン	4	700	花												
イブキジャコウソウ	9	1500	全草												
リュウノウギク	7	200	茎・葉												
ニオイタチツボスミレ	6,8	350	花												
リンギク(秋咲)	10	110	花												

引用写真: 『朝日園芸百科』朝日新聞社 (ササユリ、ササユリ、ドイツズラン、リンギク) 『日本の野草』山と溪谷社 (イブキジャコウソウ、リュウノウギク、ニオイタチツボスミレ)

『季節の香りと彩りを、かけがえのない思い出に』

主催団体 花いっぱいプロジェクト

協力 新城市立東郷中学校の生徒
新城市立東郷西小学校の生徒
愛知県立新城高校園芸科学科

平成26年度 第9回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
(環境省主催)日本アロマ環境協会賞



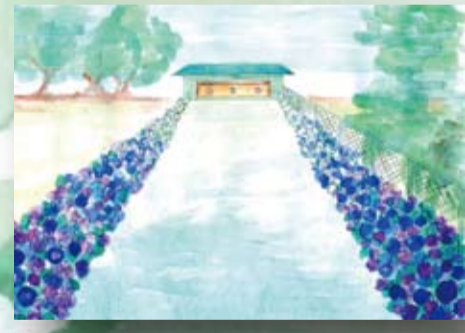
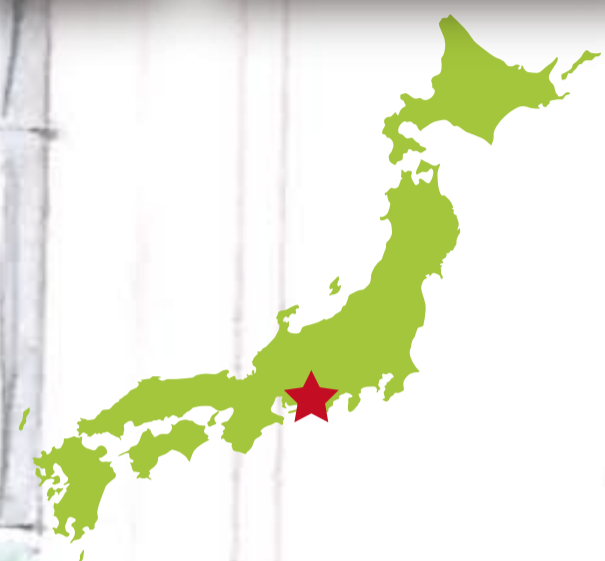
使用する樹木・草花

キンモクセイ	8本	クリスマスローズ	100株
バラ (芳香品種)	10本	ラベンダー	50株
アンネのバラ	10本	クレマチス	50株
キモッコウバラ	20本	ベルテッセン	200株
モッコウバラ	20本	スズラン	100株
アジサイ	40本	ヤマユリ	120株
カシワバアジサイ	10本	ボタン	30株
ガクアジサイ	10本	シャクヤク	30株
ライラック	13本	ヒューケラ	50株
シバザクラ	1500株	カモミール	50株
ムスカリ	300株	アサガオ	120株
スノードロップ	200株	奇跡のヒマワリ	200株
ヒヤシンス	200株	サギソウ	50株
スイセン	100株	新城高校生産花苗・ハーブ苗	3000株
スイレン	5株		



※植物の写真は環境省 HP のものを使用しました。

体はもちろん、心も大きく成長する義務教育の時期に植物の彩りや、その香りを身近に感じ、小中学生が樹木や草花の植栽・管理を通して優しい心や豊かな感性を育むことを目的としています。学校は単にある時間を過ごすための場所ではなく、時を経て、ふるさとの思い出と出会う場所です。綺麗な花や優しい香りは、学生時代の掛け替えのない思い出となり、生徒一人一人の心に焼き付きます。そして、大人になり、忙しい日々のふとした瞬間、風に乗った季節の香りでふるさとや学生時代の甘く酸っぱくほろ苦い青春を思い出し、そこから明日への勇気と活力をもらう。どう?こんな学校素敵でしょ。



花いっぱいプロジェクト アドバイザー 杉井 志織



園芸家。都市の緑における、人と園芸の関係を重視したランドスケープガーデニングや、庭園管理、園芸イベントの各種企画・運営等も手がける。「毎日新聞くらしなび」連載・NHK「趣味の園芸」「あさイチ グリーンスタイル」などに出演。



イラスト・写真は注釈のあるものを除き、すべて主催団体および協力団体である小中学校の生徒が作成しました。

秋田ふるさと村「香りの小道」プロジェクト概要

年間60万人の入場者の皆様に、香りのおもてなし
多くの人々が集い癒される『香りの小道』

計画地：秋田県横手市赤坂富ヶ沢 62-46
企画者：株式会社秋田ふるさと村、
むつみ造園土木株式会社
香りの小道：500m
植栽地面積：3,000㎡

Akita furusatomura



秋田県の県南地区にある「秋田ふるさと村」は1994年(平成6年)に開業した、秋田県立の文化複合型のテーマパークです。トリックアートやプラネタリウムなどのアミューズメント施設や県立近代美術館、工芸展示館などの文化施設などが約5万坪(東京ドーム4個分)の敷地に点在しています。年間60万人の方にさまざまな形で利用されています。また、広場や散策路には野外彫刻が32点設置されており、だれでも気軽に周辺の自然ととけこんだ芸術作品を鑑賞することができます。そのような環境に加えて、自然林だけではなく、香りの樹木・草花を植栽し、季節の移ろいと香りをたのしみながら散策できる『香りの小道』を整備することで、多くの人々が集い、癒される空間づくりを目指します。



花の香りに包まれた遊びの空間



芝生に香りの花の彩り

花達に囲まれさらに美しく印象深くなる



「樹木」	高木 5本	ヒイラギ 中木 5本	「宿根草」	苗 270株
ウメ	高木 5本	ジンチョウゲ 低木 40本	スイセン 苗 360株	
コブシ	高木 5本	ウツギ 低木 50本	スズラン 苗 150株	
ハクモクレン	高木 5本	ラベンダー 低木 500本	ヤマユリ 小計 780本	
シモクレン	中木 5本	モッコウバラ 低木 25本		
サトザクラ	高木 10本	バラ 大苗 25本		
サトザクラ	高木 5本	小計 720本		
ハウノキ	中木 5本			
カツラ	高木 5本			
エゴノキ	高木 3本			
カリン	中木 10本			
ポーポノキ	中木 15本			
ニオイヒバ	中木 7本			
		合計		1,600本・株 (※5カ年計画)

香りの小道サイン

香りの小道

香りの小道は、環境省が募集しました、第9回「みどり香るまちづくり」企画コンテストに秋田ふるさと村が応募し優秀作品として認められ、副賞として香りの樹木の支援をいただき整備されたものです。樹木や草花の香りを味わいながら散策をお楽しみください。樹名板のQRコードを読み取りさらに詳しくそれぞれの特性を知ることができます。

観察や学習に役立つQRコード付の樹名板の設置。そして、香り環境への取組みや事業の紹介をし、よりよい環境づくりを呼びかけます。



樹名板の設置 (各樹種 2枚/種類)



(ふるさと村キャラクター：ノブ君)